

学びのストーリー（単元の流れ）

授業デザイン

評価規準／評価方法

1次

オリエンテーション

◎今年はどうな総合にしたいですか。
・みんなが楽しく成長できるものにしよう。

総合のテーマを考えたい

◎3つの柱をもとに、6年1組の総合のテーマを考えよう。
・アニメーションを上映したい。
・ガチャガチャを作って、キーホルダーを出てくるようにしよう。
・「アニメーション」か「ガチャガチャ」のどちらかだね。
◎もしどちらかのテーマになったら、ゴールはどうなるかな？
・アニメーションなら上映会ができそう。
・ガチャガチャは販売して売り上げを寄付したいな。
・ガチャガチャなら売り上げがでたら学校などのために使える
・ガチャガチャをやってみたいな。
・次は目標やゴールを考えたい。

活動のゴールを考えたい。

◎どんな目標やゴールがいいかな
・みんなに回してもらって、お金を集めたい。
・その売り上げをお世話になっている学校に寄付しよう。
◎ゴールが決まったら次はどうする？
・進めるために役割分担をして、グループで作業を分担しよう
☆ガチャガチャ作成グループ ☆キーホルダー作成グループ
☆オリキャラ作成グループ
・オリジナルキャラはみんなで少し考えたいな。

2次

グループで計画を立てたい

◎どんなキャラクターが作りたいの？
・桜井小学校にちなんだものもいいな。
・マスコットキャラのようなかわいいものもいいな。
・キャラクターが決まったら、グループで計画を立てたいな。
◎それぞれのグループで活動の計画を立てていこう

【ガチャ】

【キーホルダー】

【オリキャラ】

・作り方

・作り方

・デザイン

・材料

・デザイン

パターン

・カプセル

・費用

・作り方

・これでいいかな？みんなに確認してみよう
◎それぞれのグループにアドバイスをしたい！【本時】
・ガチャガチャに費用がかかりそう。
・キーホルダーの種類が多いけど作れるかな。
・このキャラクターは本当に売れるかな。
このまま進めていいのかな。

グループで作っていこう！

・丁寧に作ろう
・色々な種類のガチャガチャを作りたい
・もっとたくさん作ろう
・いつガチャガチャを回してもらおうのかな？

ガチャガチャを回してもらおう計画を立てたい！

◎回してもらおうために何をしたらいい？
・PR動画を事前に見せる
・チラシを使って呼び掛ける
・役割分担が必要
・準備の時間が必要だ。
◎みんなに回してもらおうために準備をしよう

6－1 桜井オリジナルガチャガチャ本番

出来た利益をどうしようか。

3次

利益をどうするか考えよう！

◎どうやって寄付するのがいいかな。
・ボールが少ないって聞いたから、ボールにしたいな。

活動を振り返ろう

・みんなのためになる活動ができてよかった。
・自分たちの思ったことが実現できてよかった。

みんなに知ってもらった方がいいかな・・・

作ってみたいとわからない・・・

手立てや概念

総合の柱を作ることで、みんなのためのテーマを作成することを意識させる。

高め合う

テーマ決定の際に、自分たちで実現可能か、メリットやデメリットはあるのかを考えさせることで、やりたいことではなく、意味のある活動を自分たちで選択できるようにする

響き合う

意見が衝突する際に潰し合いにならないように、よい聞き方、話し方をしている児童を認め、話し合いの基本となる部分を築いていく。

高め合う

活動のゴールを具体的に想像することで、自分たちで探求活動を進めていく見通しをもたせる。

手立てや概念

活動を進めるにあたって生まれた疑問を全員に投げかけることで、他人事にならないようする。細かいことでも投げかけることで、子どもたちで意思決定の場面を作る。

手立てや概念

アニメ型とマスコット型のキャラクターの絵を準備することで、みんなが作りたいキャラクターのイメージを統一させる。

響き合う

グループを中心に進めることで、発言に消極的な子も意見を出しやすい環境を作る。その際、声の大きい子が進んでいかないようにグルーリーダーが中心となって話し合いを進めていけるようにする。

高め合う

各グループのプレゼンをもとに、それぞれの思いを伝えあうことで、よりよい活動を作っていこうとする。また、それをもとにグループで計画を練り上げ、さらに活動内容を明確にしていく。

自己調整

グループ目標達成のために自分にできることを考え、行動していく。

手立てや概念

魅力ある商品にするために、買い手を意識した物作りをすることを全体で確認する。

高め合う

「どうしたら来たくなるのか」といった視点をもたせ話し合う中で、活動の見通しや必要な準備を自分たちで考え、実現させていく。

手立てや概念

お客さん呼び込むための工夫をもとに、必要であればサポートをする。

響き合う

生まれた利益と自分たちの思いを照らし合わせながら、学校に必要な道具を考えていく。

手立てや概念

自分たちの活動は意味のあるものだったのかを振り返り、自己有用感を高めさせたい。

- 【思考・判断・表現】
- ・テーマ決定のために、根拠をもって考え、伝えているか。(発言、ワークシート)
- 【学びに向かう力・人間性】
- ・テーマ設定にあたり自分事として捉えているか。(発言、様子)
- 【思考・判断・表現】
- ・活動のゴールまで見通しをもって考えているか(発言、ワークシート)
- 【知識・技能】
- ・適したツールを使って、必要な情報を集めることができる。(様子、発言)
- 【思考・判断・表現】
- ・友達の意見を取り入れながら、活動を進めることができる。(ワークシート)
- 【知識・技能】
- ・作りたいレシピをもとによりよい商品を製作している。(様子)
- 【学びに向かう力・人間性】
- ・売れる商品を作るために、買い手のことを考えて制作している。(様子、ワークシート)
- 【思考・判断・表現】
- ・生まれた利益の使い方を根拠をもって考えている。(ワークシート)
- ・1年間の活動を振り返ることができる。(ワークシート)

願う子どもの姿

- ・買い手のニーズを考え、魅力ある商品を作ろうとする姿。
- ・自分たちの決めたゴールに向かって、試行錯誤しながら活動を進める姿。
- ・自分のやりたい思いと友達の考えに折り合いを付けながら話し合いを進める姿。